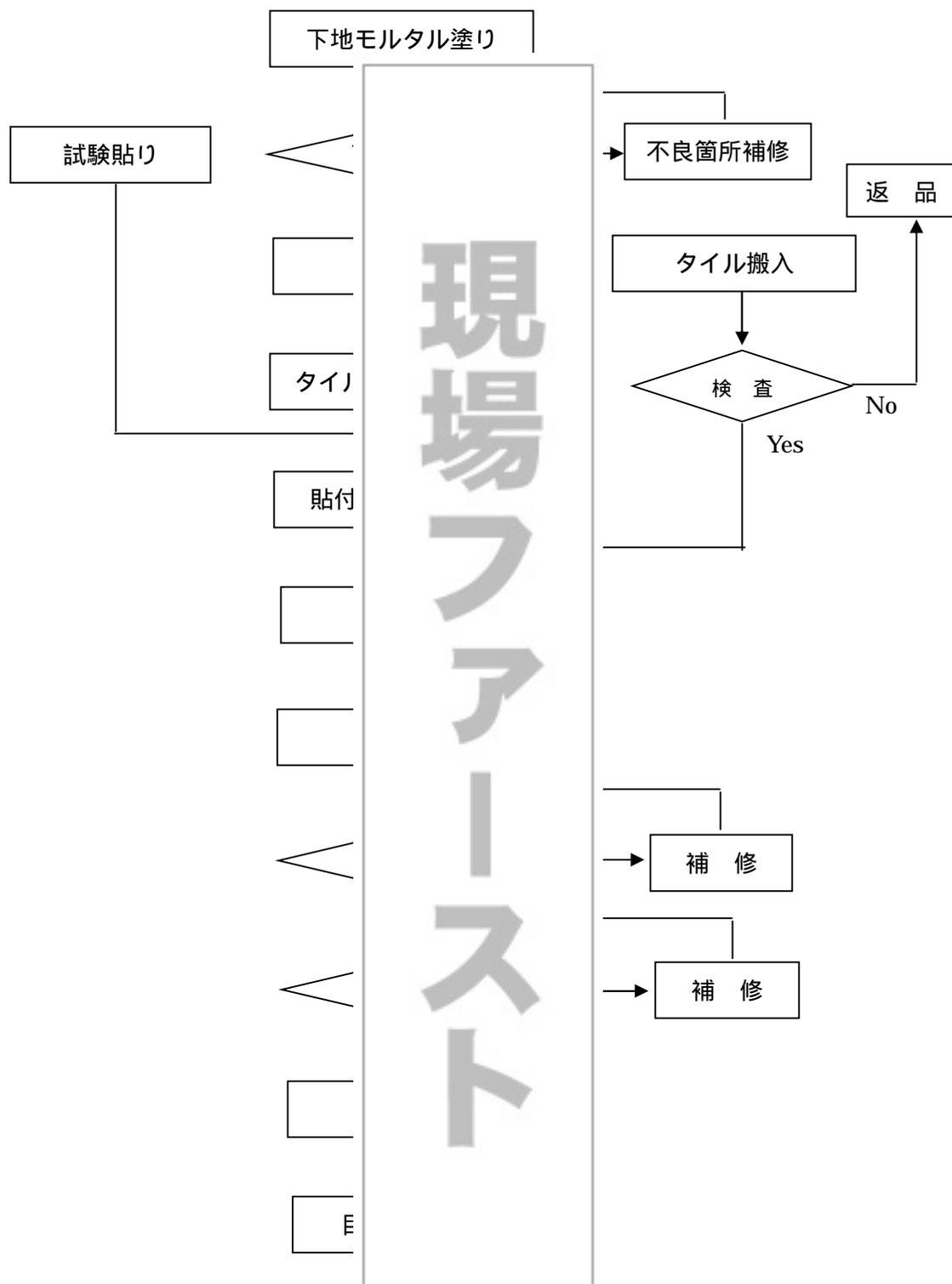


#### 4. 外部タイル

##### 1) フローチャート



## 2) 外壁 75 角 タイル貼付け

### a. 貼り付けモルタル塗り

- (1) 加水混練したモルタルを下地面に金ゴテにて十分力を加えながら塗りつける。
- (2) 下地モルタルの塗り厚は 5 ~ 6 mm とし、2 度塗りとする。
- (3) 貼り付けモルタルの 1 回の塗り面積は貼り付けモルタルを塗ってからタイル貼り付け終わるまでの所要時間が 40 分以内とする。

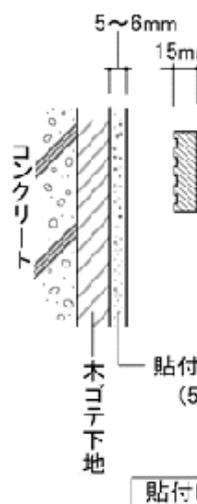
### b. タイル貼り付け

- (1) タイル表面は施釉により滑る。 (製品梱包時に調整済) とする。
- (2) タイルは水系に沿って定位置にタイルが目地の部分にタイトに貼られるように (タイルの裏面に付いた突起部) を使用して貼り付けを行う。
- (3) ずれ落ちが生ずる場合は空練りモルタルのふり粉を塗り直し、再度貼り付けを行う。
- (4) 貼り付けモルタル塗りついでにタイルの目地が詰まらなくなったものは、

### c. 微調整作業

- (1) 貼り付け後、全体の色調が揃っていない場合は、40 分以内にする。

外壁のタイル貼り



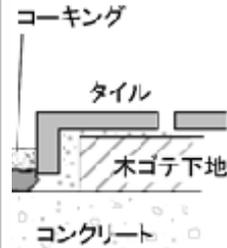
現場ファースト

り付時に色調が一方に偏らぬように注意  
み上げるようにして貼り、貼り付けモルタルに  
こがるくらいに電動衝撃工具 (ビブラー) を  
使う。調整によって防止し、生セメントや  
上経過したものはまたは、タイルのくい  
: 掻き取って新たに塗りつけ直しを行う。

通りの修正を行う。修正は貼り付け後



## ジョイント部コーキング納まり



# 現場ファースト

### 3) 小口タイル

- (1) タイル貼施工の前日に必ず  
また、施工に先立ち適度( )
- (2) 予め施工図・仕上げ墨等  
割りつける。
- (3) 仕上墨に基づき縦横にタ
- (4) タイル貼付モルタルは、  
配合したタイルモルタルを  
また、練混ぜられたタイル
- (5) タイルモルタルの一回の
- (6) タイル貼付モルタル塗り  
着する。その際、押込みか  
意する。  
また、貼付け後の目地修正
- (7) 目地詰めはタイル張付け
- (8) 目地詰めは目地専用材料  
面の余分な目地材を水に洗  
の表面を押え仕上る。
- (9) 作業終了後は、必ず作業
- (10) タイル洗いは原則とし  
用し、隣接仕上材に酸が付  
酸洗い後は十分に水洗いする。

- シ等で水洗いを行い、境等を除去する。
- 上り寸法等、監督員立会いの上確認し、
- 張り、全体のバランスを見る。
- 配合された珪砂) および合成樹脂粉末を  
均に使用する。
- し、塗付け後 30 分以内に貼り付ける。
- ラートにてモルタル中によく押し込み圧  
き、ハガレの原因となるため、十分に注  
意の通りを修正する。
- から行う。
- ム鎮により目地部に塗り込み、タイル表  
した後、乾き具合を見て目地鎖にて目地
- 場上に残材等は決して置いておかない。
- が著しい場合は希塩酸(30倍溶液)を使  
用する。

#### 4) 45二丁掛タイル

- (1) タイル貼施工の前日に必要な場合はデッキブラシ等で水洗いを行い、埃等を除去する。  
また、施工に先立ち適度の水湿しまたは吸水調整材の塗布を行う。
- (2) あらかじめ施工図・仕上げ墨等により、下地寸法・仕上り寸法等、監督員立会いの上確認し、割付ける。
- (3) 仕上墨に基づき縦横にタ
- (4) タイル貼付モルタルは、  
モルタル混和材 (INAX 4  
また、練混ぜられたタイル
- (5) タイルモルタルの一回の
- (6) タイル貼り工法は、圧着  
地部にタイル厚の 1/2 程  
の際、叩き込みが不十分  
また、貼付け後の目地修正
- (7) 目地詰めはタイル張付け
- (8) 目地詰めは目地専用材料  
の余分な目地材を水に浸し
- (9) 作業終了後は、必ず作業
- (10) タイル洗いは原則とし

# 現場ファースト

張り、全体のバランスを見る。  
配合された珪砂)・合成樹脂粉末および  
したタイルモルタルを使用する。  
均に使用する。  
し、塗付け後 30 分以内に貼り付ける。  
タル塗り付け後直ちに叩き板を用い、目  
り上がるまでよく叩き込み圧着する。そ  
レの原因となるため十分に注意する。  
の通りを修正する。  
から行う。  
ム鏝にて目地部に塗り込み、タイル表面  
。  
上に残材等は必ず片づける。  
著しい場合は希塩酸 (30 倍溶液) を使  
用する。

#### 5) 外部床 100角タイル

- (1) タイル貼施工の前日に必  
また、施工に先立ち適度
- (2) 予め施工図・仕上げ墨等  
割りつける。
- (3) 仕上墨に基づき縦横にタ
- (4) タイル貼付モルタルは、  
配合したタイルモルタル  
また、練混ぜられたタイル
- (5) タイル貼付けモルタル塗  
ル中によく叩き込み圧着  
その際、叩き込みが不十分  
また、貼付け後の目地修正  
の通りを修正する。
- (6) 目地詰めはタイル貼付け後 12 時間以上経過してから行う。
- (7) 目地詰めは目地専用材料をよく練り合わせ、ゴム鏝にて目地部に塗り込み、タイル表面  
の余分な目地材を水に浸したスポンジで拭き取った後、乾き具合を見て目地鏝にて目地部  
を押さえ仕上る。
- (8) 作業終了後は、必ず作業場所を整理整頓し、足場上に残材等は決して置いておかない。

シ等で水洗いを行い、埃等を除去する。  
上り寸法等、監督員立会いの上確認し、  
張り、全体のバランスを見る。  
配合された珪砂)および合成樹脂粉末を  
均に使用する。  
り終える程度とし、床用タイルをモルタ  
レの原因となるため、十分に注意する。

- (9) タイル洗いは原則として水洗いするが、汚れが著しい場合は希塩酸(30倍溶液)を使用し、隣接仕上材に酸が付着しない様、特に注意する。  
酸洗い後は十分に水洗いする。

6) 外部床 150角タイル

a. 貼り付けモルタル塗り

- (1) 加水混練したモルタルを  
(2) 下地モルタルへの塗り厚  
(3) 貼り付けモルタルの1回  
タイル貼り付け終了までの

十分力を加えながら塗りつける。

塗りとする。

とし、貼り付けモルタルを塗ってからタ  
イル面積とする。

b. タイル貼り付け

- (1) タイル表面は施釉により  
注意する。(製品梱包時にミ  
(2) タイルは水系を基準に、  
行う。  
(3) 貼り付けモルタル塗りつ  
なくなったものは、塗りつ

り付け時に色調が一方に偏らぬように注

イルの裏足に十分廻るように叩き込みを

したものまたは、タイルの食い込みが悪  
新たに塗りつけ直しを行う。

c. 微調整作業

- (1) 貼り付け後、全体の色調  
40分以内におこなう。

通りの修正を行う。修正は貼り付け後

現場ファースト